



SCOUT CHIBA

スカウト ちば

平成23年度の目標
スカウト運動の基本に基づき
より良いスカウトを育てよう!
~まず班制教育の徹底~

発行：日本ボーイスカウト千葉県連盟
運動拡大委員会
発行責任者：木村 政夫 編集長：上野 孝

〒263-0016 千葉市稲毛区天台6-5-2 千葉県青少年女性会館内
TEL 043-287-1755 FAX 043-287-1786

<http://www.scoutchiba.jp/>

	回数		隊数		団委員	指導者	スカウト	その他	計	ビーバー (BVS)			カブ (CS)			ボーイ (BS)			ベンチャー (VS)			ローバー (RS)		
	登録数	前年度末数	指	ス						隊	指	ス	隊	指	ス	隊	指	ス	隊	指	ス	隊	指	ス
登録数	115	542	1,431	2,040	4,735	2	8,208	105	370	614	115	798	1,332	115	475	1,397	113	263	783	94	134	609		
前年度末数	115	549	1,494	2,253	5,282	2	9,031	110	416	843	115	928	1,514	115	496	1,468	113	266	838	96	147	619		

[加盟登録状況]平成23年8月末日現在

県内津波被害における、復興支援 香取東総地区 旭第2団 団委員長 松本 勝



家の中に入った土砂のかき出し作業。
津波の水は鴨居まで!

平成23年3月11日(金) 14時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震が発生。千葉県旭市においては震度5強を観測し、この地震の影響により大津波が発生しました。

午後4時頃から6時頃にかけて計5回の大津波が旭市飯岡地区を中心に甚大な被害を及ぼし、死者13名、行方不明者2名。住宅の被害が3,625棟(7月末現在)がありました。

3月15日から、「旭市社会福祉協議会」を窓口、災害ボランティアの受け入れを開始し、ボーイスカウト千葉県連盟においても3月19日~21日までの3日間「災害支援要員」を始め、その他のボーイスカウト関係者のご支援も頂き、被災した家屋や工場の瓦礫の撤去や工場内の清掃等に参加しました。



家の中も外も、飯岡海岸特有の砂鉄まじりの重い砂で埋まっていました

災害ボランティア活動をして

香取東総地区 旭第1団 ベンチャースカウト隊 善当 竜也

大震災発生からすぐに災害支援要員としていつでも参加出来る準備(奉仕する心構えと体制)をしていました。もちろん、支援体制マニュアルを読んでいたので発生直後からすぐに動ける



被災民家のゴミ出し

などとは思っていませんでした。時間が経過することに被害の全体像が見え、私の暮らす地域も大津波の被害を受けていることがわかりました。こんなにも被害が出れば災害支援要員による災害支援運用が行われると思い連絡を待ちました。しかし、連絡は来ることもなく災害支援活動の有無を知らないまま、私は被災された方たちのためにお役に立ちたいと思い、地域の



地元ベンチャースカウトが活躍

社会福祉協議会が開設したボランティアセンターにおいて開設初日から、一般市民として同期、後輩ベン

チャースカウトと共に活動していました。

何日か通ったところでリーダーより連絡があり我が香取東総地区で支援活動を行うと伝えられました。

私はこの連絡をもらいとてもうれしい気持ちになりました。正直、甚大な被害を出した街の中にいるのはとても辛かったし、一般市民として活躍するよりボーイスカウトとして災害ボランティアに参加し、被災された方々が少しでも元気に又、明るくなって頂けるように活動したいと心の中で思っていたからです。

地区で行った支援活動は休日のみでしたが、大勢の方が参加され、知り合いのスカウトやリーダーの顔を見ると感動してしまいました。また、士気が高く、作業効率もよく無駄のない動きで活動している様子を見ると今まで以上に頑張ろうと思いました。活動を通しての感想は、被災者の方々が私たちの奉仕に対して本当に感謝されていた様子でとてもうれしかったです。

す。金銭的な支援も素晴らしいですが、私たちが力を合わせて被災された方とともに汗をかき、復興へ向けて頑張っていく事は本当に素晴らしいと思いました。今回の活動では、お隣の印旛地区や館山、市原等をはじめ県内各地区からの参加があり本当に感謝しています。今後もスカウトとしての、誇りを持って活動していきたいと思っています。



海上キャンプ場に集合して



旭市社会福祉協議会にて旭市ボランティアの受付

東日本大震災における、ボランティア活動実施報告

「みんなで大きな力に!広げようスカウトの絆」 —今こそスカウトスピリッツ—

千葉県連盟では、3月11日の東日本大震災発生直後から「みんなで大きな力に!広げようスカウトの絆」のスローガンのもとに各団が県内外で様々なボランティア活動に取り組みました。ピーバースカウトからローバースカウト、指導者が一丸となって取り組んだ結果、一人ひとり小さな力でしたが、右記のとおり大きな成

果になりました。引き続き、それぞれが出来ることを考え、行動に移していきましょう。

- 募金活動 延べ89団 3,337人 総額12,216,581円
- 災害支援・物資支援活動報告 延べ19団157人

ありがとう

千葉地区 千葉第9団 ローバースカウト隊 山田 大介

あの日僕らは大切な人を失いました。僕たちが最後に会ったのは朝霧高原です。4月17日、僕はちゃんと「ありがとう」を言いに行こうと思い被災地へ向かいました。あの頃の石巻は泥かきと瓦礫の運びだしの毎日でした。毎朝泥だらけになった



ツナギを着て僕らは車に乗り込みます。消えた信号、ひび割れた道路、道端に積まれた家財道具や畳、どれも非日常の世界でありリアルです。そんな街で人々は生きています。

僕らが右腕につけた「ボーイスカウト日本連盟」の腕章がスカウトとして活動する証です。この腕章をつけて活動することがベストな選択かどうかはわかりません。ただスカウトの僕たちであるからこそできることがあります。テント生活は不便ですか?お風呂に入れない環境は耐えられませ

んか? 自炊は大変ですか?いつものザックに荷物を詰め



るだけです。僕たちには技術があります。僕たちには仲間がいます。あとはほんの少しの勇気があれば「何かができる」はずです。

僕はまた被災地に向かいます。僕を突き動かす「ありがとう」の気持ちとともに。

東日本大震災へのスカウトとしての取り組みについて

船橋地区 船橋第3団

私達船橋第3団は船橋市南西部を中心に活動し、今年発団60年を迎えました。

当団では震災発生後、3月27日(日)にピーバースカウト隊からローバースカウト隊まで全隊による緊急集会を実施し、「スカウトとして何ができるのか?」を全員で議論しました。その結果、ボーイスカウト隊による募金活動を定期的に実施することとなり、団としてもサポートを行うことを決定しました。

ボーイスカウト隊は早速、翌日から5月下旬まで計4回の募金活動を実施。計646,993円もの善意をお預かりし、日本



連盟を通じて被災地に届けることができました。また、カブスカウト隊では、お見舞いと応援のメッセージを込めた千羽鶴を作成、県連盟を通じて県内の被災団に届けられることとなりました。同時にローバースカウト隊および成人指導者を中心として、直接被災地に赴いての奉仕活動も計画。5月下旬に二度にわたって延べ8人が日本連盟のボランティア定期便バス等

を利用し、石巻ベースを拠点としたがれき撤去作業等の奉仕に参加したほか、8月にも福島県いわき市における奉仕に参加しています。

復興への道程はまだまだ長いものと思われませんが、「ともに進もう」のスローガンのもと、当団の一人ひとりがスカウトとしてそれぞれに出来ることをこれからも実施していきたいと考えています。



はっけん 伝



スカウト諸君は叱られるより、褒められるほうが嬉しいですよ。そんなに悪いことをしていると思われないときに、叱られると挫けますよね。

褒められると嬉しいです伸びるのです

ある新聞にノーベル賞を受賞された田中さんのことが、載っていました。田中さんは小学校の理科の時間に先生に質問したところ、先生はいい質問だ、「君は凄い!!」とほめてくれたそうです。そしてこの「君は凄い!!」という一言が、田中さんの科学志望となり、ノーベル賞へと繋がったそうです。賞を受けて帰国した田中さんは自宅より先に、先生の元に直行して、感謝の気持ちを伝えたと

です。ほめる言葉には驚くべき力があります。これをピグマリオン効果といいます。山本五十六元帥の言葉に「ほめてやらねば人は動かじ」と言う名言もあります。毎日褒められると自然のうちに伸びていくのだそうです。諸君もたくさん褒められるように願っています。

千葉県連盟 コミッショナー 伊藤 知

県内各地区の隊活動便り

いたぞっ!ザリガニ

船橋地区 船橋第14団 ビーバースカウト隊 隊長 町井久徳

我が船橋第14団ビーバースカウト隊は、毎年7月に自然の生き物に触れようという集会を行っています。

今年は7月10日、松戸市「21世紀の森と広場」でザリガニつりを行いました。夏の太陽が照りつける中、開始のセレモニー



のあと隊リーダーの技術指導を受けて、たこ糸の先につけたゼムピン(これがつり針)にエサの「むきエビ」をさして、ビーバースカウトたちはいざ小川めがけて走り

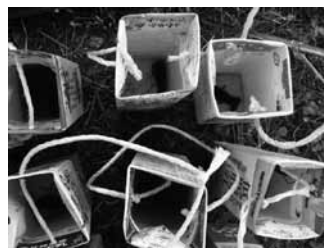
だしました。

最初はザリガニの姿も見つけにくかったのですが、エサのおいをかぎつけたザリガニたちがぞろぞろと赤い大きなはさみをふりかざしてエサをぐいぐい引き始めました。そのうち、あちこちから「つれたぞっ!」「あっ!にげられた!」スカウトたちは、もう夢中です。勿論指導者や保護者の皆さん達も真剣でした。

終わってみれば、ビーバースカウト9人、保護者や家族、指導者13人それぞれ、牛乳パック(これが入れ物)の中にかくさんのザリガニたちが赤黒く光っていました。

普段、あまり自然の生き物に出会う事がないスカウトたちも、この日ばかりは自分で釣りあげたザリガニに直接触れて大よこびでした。

最後に自然の大切さについてお話しをし、ビーバースカウト達はうなずいてくれました。



カブドッジボール大会

千葉地区 千葉地区 千葉第8団 カブスカウト隊 隊長 宮坂栄人
(カブドッジボール大会実行委員長)

6月5日、待ちに待ったドッジボール大会が、花島公園体育館で開かれました。今年の種目は、今までのソフトボールでなくドッジボールです。参加は、10個団12チーム。スカウト187人、指導者76人、応援73人、合計336人と、大人数が集まりました。



試合は、イースト(東)とウェスト(西)にわかれて、予選リーグから始まりました。室内の大会なので雨は気になりませんが、晴れて朝からかなり暑い日でした。さらに各試合とも熱気であふれて、熱中症が心配になるほどです。

取ったボールは必ず自分で処理する、というのがルールでしたが、それを胸に、スカウトたちがコートの中で自分の役割を果たしてプレーする様子を見て、ドッジボールという種目を選んでよかったなと感じました。

終了セレモニーでは、成績発表が行なわれ、優勝は9団、準優勝21団、3位8団Bと紹介されました。その後、野口コミッショナーによる講評と表彰が行なわれ、表彰は一人ひとりに対して自ずから行なわれました。大変盛り上がったこの大会。来年は、より一層多くの隊が参加することが期待されます。



「ピーピッピッピッピッ!」いつでもどこでも誰でも集合!

東葛地区 東葛地区 我孫子第1団 ボーイスカウト隊 隊長 菊池直彦



今から27年前、君たちと同じボーイスカウト隊の隊員だった私は「♪隊長は班長のなれの果て～」なんて楽しくうたっていた。そして現在、この歌のとおり隊長をしている。

我孫子第一団は、手賀沼周辺の森の中に野営場がある。そのため、活動もカヌーや釣り、信号塔やモンキーブリッジ製作の他、自由に火が使えるという環境を生かし、火起しゲームや竹飯作りを行っている。また、オーバーナイトハイキングでは眠りながら歩くというスゴ技を使い、仲間とともにゴールを目指し感じる冒険心、朝日を浴びゴールした時の、なんとも言えない達成感を味わいたいと、今のスカウトにも伝統として引き継がれている。

そして、もうひとつの楽しみは夏期キャンプである。一年間の力を試す為に、今年は日光霧降高原でキャンプを行った。まぶしい太陽と午後の激しい雷雨。静寂の深い霧とその後の星空。変化し続ける天候に、登山を途中で断念する勇気を学んだ。また、雨に打たれ体温をうばわれていく感覚、泥に足を滑らせながらも互いを思い、助け合った仲間達。自然の偉大さを肌で感じ、得るものの大きなキャンプとなった。それは、スカウト達の「一番大変だったのは雨。でも、一番楽しかったのも雨」という一言に表れていたと思う。

最後に、みんなは多くの人に見守られている。だからこそ、感謝とチャレンジ精神を持ち続け大きく成長を続けていってほしい。仲間は、世代を越え、国を越えたくさんいるよ。



国際交流

第22回世界ジャンボリー



千葉地区 千葉第9団 ベンチャースカウト隊 渡邊 祐亮

私は今回の第22回世界スカウトジャンボリーにA分団派遣6隊の議長として参加しました。自隊でも議長として、またボーイ隊で上級班長を任されているので、ジャンボリー前はいつも通りやればいいのかと思っていました。しかし6隊の隊員全員個性的なメンバーでみんなをまとめるのにとても苦労しました。ですが、長いキャンプ生活の間で隊員一人ひとりのことをよく見ていくうちに、隊員の人間性が見えてきてその隊員に合った接し方ができるようになり、普段の活動がとても楽しくなりました。

また私は議長として決して優秀な方ではないので隊のメンバーに迷惑をたくさん掛けたかもしれません。班長も兼任し

ていたので、議長として活動しているときは班の仕事にあまり手が回らず、ほとんど次長のスカウトに任せてしまっていたので次長には本当に迷惑をかけてしまったと思います。それでも何も文句も言わず私についてきてくれた次長に感謝したいです。

今回の世界スカウトジャンボリーはこのような貴重な経験を得ることができたとても良い大会となりました。議長の私を支えてくださったリーダー、また友達のように接してくれた隊員たちみんなに感謝したいです。またこの経験を生かし、次の第16回日本ジャンボリーや第23回世界スカウトジャンボリーではリーダーや奉仕として参加したいです。

シンガポール派遣隊



～派遣を終えて思うこと～

八千代・習志野地区 八千代第2団 ローバースカウト隊 小長谷 有

この派遣を終えて、私の中に残るものは、多くあります。その中で一番大きなものは、目的に対する情熱と愛情であるということです。なぜかという、自分がしなければならないことがあるときに、それを面倒と思うか、みんなのためにと思うことができるかは、この二つ(情熱と愛情)から生まれると思うからです。この派遣は、他の派遣と違い、一から創り上げていきます。結果、仲間や指導者の皆様との絆は強くなり信頼関係は深まります。この派遣にご協力くださったすべての方、共に

過ごした仲間、心からの感謝をしたいと思います。スカウトは何事にも全力で、いつも他人のことを考え行動できる人のことを言うのだと思います。私はこの派遣を通して、その難しさと偉大さを改めて感じ、ちかちかおきてを心に刻む必要があると思いました。また、スカウトであったことで、シンガポールのスカウトのみんなと共に過ごせたことを神に感謝したいです。

～思い出に残る交流プログラム～

南総地区 君津第2団 ローバースカウト隊 加藤 翔

今回のシンガポール派遣のメインプログラムは、現地の日本人スカウトとのモンキーブリッジの製作やゲームを行なった交流プログラムでした。現地のスカウトと楽しい活動を行うために会議を重ねて、計画書を作成し、現地に向かいました。しかし、現地では、想定していた資材が足りなかったり、計画していた時間ではモンキーブリッジの作成が困難であることが判ったりと計画外の事が起こりました。そこで自分の計画の甘さを思い知らされました。ま

た、それと同時に臨機応変な対応の重要性を知りました。足りないのであればあるもので対応する。時間が足りないのであれば調整する。その場で最も必要な行動を考えることは大変でしたが、やりがいも感じました。そんな中、プログラムを終え、参加したスカウトがそばに駆け寄ってきて「楽しかった」と言ってくれ苦勞が報われる思いを感じました。反省点は多々ありますが、この経験を活かして、また「楽しかった」と言ってもらえる様な活動をして行きたいと思っています。

～シンガポール派遣の目的～

印旛地区 四街道1団 ローバースカウト隊 澤村 勇介

シンガポールで僕たちは3つの事を中心に活動しました。1つ目は奉仕プロジェクトでシンガポールの病院のアシホスピスに行き、患者にフットマッサージを行いました。2つ目はシンガポール1団との交流プロジェクトでシンガポールにいる日本人スカウトのシンガポール1団と交流キャンプを行いました。シンガポール1団にはローバースカウト、ベンチャースカウトがいないので、僕らは彼ら

(スウェーデン) 派遣隊報告



上総地区 茂原第2団 ボーイスカウト隊 富田 菜名

私が今回22WSJに参加して感じたことは同じ6隊のスカウトやリーダーの存在の大切さです。最初の準備訓練では、自分の人見知りな性格のおかげで誰とも仲良くできず、そのまま22WSJの出発前日になってしまい、「このまま1人ぼっちなんじゃないか」「班の人と仲良く出来るだろうか」など、頭の中が不安で一杯でとても憂鬱でした。しかし事前訓練では同じ部屋になった先輩たちがとても優しく直ぐ仲良くでき、前日の不安が一気に吹き飛びました。キャンプ中も、同じ班ではない人もたくさん話かけてくれて直ぐに仲良くなれました。プログラム内や活動中などで辛いことや悲しいことがあっても、みんな一緒だと安心して乗り越えることができたし、一人では楽しめないことも、みんなと一緒にあったから倍以上楽しくなりました。色々なトラブルや不安なことがあってオロオロしたり、泣いたりした時も、どこかに誰かいてくれて、慰めたり励ましてくれました。隊のみんなは優しく、面白くて、思いやりがあって、一緒にいてとても楽しくて、年下の私の面倒をよく見てくれて、私自身ここまで良い人たちに出会ったことが初めてなので

22WSJが終わったらみんなと離れ離れになるのがとてもさびしい、悲しいです。22WSJで行なった全てのプログラムも、開会式、閉会式も雨が降って大変だったことも、思いっきり笑ったこと、びっくりして泣いたことも、辛かったりさびしかったことも、全て良い思い出となりました。

この大会のおかげで、これからボーイスカウトを続けて皆さんの大会に参加しようと思ったし、原隊の活動でも22WSJで教わったことを活用していこうと思いました。22WSJのおかげで自分がたくさんのことを吸収することができたし、大きな成長ができました。本当に22WSJに参加してよかったです。



の先輩役としてモンキーブリッジの製作を指導し、キャンプファイヤー、ゲーム大会をして一緒に遊びました。3つ目は個人プロジェクトです。個人プロジェクトではシンガポールのニューウォーターについて調べました。ニューウォーターは家庭などの排水を洗浄・処理された水で、飲むこともできます。この技術は、シンガポールが世界でトップクラスの技術力を持っています。僕たちが行ったプロジェクト以外にもシンガポールは自然や文化がとても面白い国です。ぜひ僕たちに続いているいろいろな企画を立ててシンガポールでプロジェクトを行ってみてください!!



ハイジの国から

八千代・習志野地区 八千代第2団 ローバースカウト隊 小長谷 有

カンドルスティッヒ国際スカウトセンター 奉仕中間報告



は私を含め25以上の国と地域から60名以上が集まり、この施設の運営を行っています。私の仕事は、シャレイサービスで、清掃、ショップのスタッフ、調理を行っています。

「まるで、ハイジの国に来たようだ、これがカンドルスティッヒ国際スカウトセンター (KISC)にきたときの私の第一印象です。KISCはスイスの西部カンドルスティッヒに位置し、ジュネーブから車で約2時間のところにあります。KISCは、周囲を山々に囲まれ、川がすぐ目の前を流れる美しい自然の環境中にあり、世界各国からベーデンパウエルへの夢の一部と共に生きるために多くのスカウトが訪れます。

私は日本連盟から派遣され、ショートタイムスタッフとして6月から9月までの3ヶ月間奉仕をしています。スタッフ

は私を含め25以上の国と地域から60名以上が集まり、この施設の運営を行っています。私の仕事は、シャレイサービスで、清掃、ショップのスタッフ、調理を行っています。

KISCに来て1ヶ月が過ぎましたが、異文化・他国言語に触れて世界中のスカウトと共に、話し、笑い、協力し合うことで、日本のボーイスカウトに必要なこと、今の日本の復興に必要なこと、そして、この世界中を少しでもよりよい世界にするために必要なことを見出し、自分自身にとっても有意義な経験してこの地を去りたいと思います。いろいろな方々の支えにより、この地で多くの経験ができていることを心に刻み、感謝して今を生きていきたいと思っています。

ゲット!!

富士章・千葉県連盟隼章・菊スカウト章 取得スカウト

平成23年2月25日～平成23年8月19日

富士章			
牧内 謙太	松戸	6	団

千葉県連盟隼章			
渡邊 祐亮	千葉	9	団
大島 凜太郎	習志野	2	団
長岡 殊未	木更津	3	団
井幡 香織	木更津	3	団
前田 成貴	木更津	3	団
栗山 智宏	袖ヶ浦	1	団
岡部 篤	船橋	5	団
高橋 幸祐	柏	7	団
辻 裕美	浦安	2	団
高橋 尚也	松戸	10	団

菊スカウト章			
上田 瑞希	野田	7	団
大木 良真	匝瑳	1	団
中野内 智仁	松戸	10	団
高橋 未来	松戸	10	団
島根 颯	松戸	10	団

菊スカウト章			
霞 綺花	東金	1	団
轟 陸	八千代	3	団
亀田 裕一	千葉	6	団
阿蘇 武	流山	4	団
伊藤 凌太郎	松戸	10	団
泉 真太郎	木更津	2	団
太田 尻紗也	香 鎌ヶ谷	2	団
長坂 響	佐倉	2	団
齋藤 隼	市川	3	団
野島 麗奈	千葉	13	団
太田 龍一	八千代	1	団
村上 貴俊	流山	5	団
大西 勘太郎	流山	5	団
亀山 雄生	船橋	10	団
茂木 将大	君津	2	団
村上 舞	市原	6	団
小泉 由輝	茂原	2	団
栢本 拓実	君津	3	団
高橋 亮太	君津	3	団
吉田 賢司	君津	3	団

菊スカウト章			
高井 保奈美	浦安	2	団
柴山 紗綾	浦安	2	団
後藤 翼	四街道	2	団
西村 怜二	四街道	2	団
栗原 寿明	野田	5	団
平戸 拓哉	鎌ヶ谷	2	団
宮本 優里	鎌ヶ谷	2	団
上村 直士	銚子	3	団
程田 有紀	柏	4	団
鈴木 康平	船橋	5	団
海藤 歩	茂原	2	団
富田 葉名	茂原	2	団
桑名 遥香	千葉	1	団
福田 周平	千葉	1	団
尾川 友理	柏	5	団
岡田 知緋乃	市川	2	団
田中 琢	習志野	2	団
浅野 早希	匝瑳	1	団
福嶺 俊紀	匝瑳	1	団
鈴木 一弥	匝瑳	1	団

菊スカウト章			
甲斐 久南太	千葉	9	団
小寺 雄大	松戸	5	団
不動 陸	鎌ヶ谷	2	団
田中 光瑠	市川	2	団
浜木 一成	市川	2	団
遠藤 拓哉	市川	3	団
宇治 大智	千葉	9	団
竹内 隼人	千葉	9	団
國永 篤志	千葉	9	団
鈴木 隆太郎	千葉	9	団
大澤 航真	千葉	22	団
西村 華	千葉	25	団
青木 美徳	柏	1	団
佐々木 瑛太	柏	1	団
武田 康志	柏	1	団
佐藤 貴哉	旭	2	団
高倉 颯汰	旭	2	団
志村 洗平	八千代	3	団

宗教章 平成23年4月28日～平成23年8月28日

仏教			
中森 浩樹	柏	4	団
辻 裕美	浦安	2	団

仏教			
山本 彩	松戸	9	団
前田 成貴	木更津	3	団

仏教			
平井 佑嗣	松戸	9	団
堀内 美希	市川	8	団

キリスト教			
木下 萌美	千葉	1	団

富士プロジェクト発表会



プロジェクト発表会場

富士章受章スカウトによるプロジェクト発表会は、22年度取得した5人のうち当日2人が仕事や学業で欠席し、3人のスカウトがプロジェクトを発表した。



プロジェクト発表、三宅さん



発表を傾聴する参加スカウト

テーマを選んだ理由から取り組みのプロセス、評価や反省点も含めて3人の発表は、それぞれに発表の手法も違い、しっかりとしたプレゼンテーションに参加した20名のベンチャースカウト達にとって活動意欲を高める機会となり、有意義な発表会であった。

次年度は多くのスカウトの参加を期待します。

わが地区自慢のキャンプ場紹介

「君津市坂田緑地キャンプ場」南総地区

坂田緑地キャンプ場は富津に向かう県道90号沿いで、君津市緩衝緑地公園の中に位置しています。交通の便の良い場所にありながら多くの木に囲まれていますので市街地とは思えません。最大200人収容



容できるそうです。キャンプ場使用料金は無料です。炊事場1ヶ所、かまどは2ヶ所、汲み取り式ですがトイレの設備が整っています。道を挟んで下がメインサイト、上が緩やかな傾斜の芝生となっています。あずまやがありますので急な雨が降っても安心です。また指定場所ではキャンプファイヤーが可能です。事前に使用許可申請書及び利用者名簿を管理事務所に提出します。

春は桜の花見、夏はバーベキューをする家族、団体が賑わいます。主に君津第2団のB-P(バーデン-パウエル)祭やス



カウトフェスタなどの団行事、ピーバースカウト隊・カブスカウト隊の野外料理プログラム、ボーイスカウト隊のキャンプで利用しています。

キャンプ場問合わせ

君津第2団 副団委員長
勝見介尉 0439-54-2178
キャンプ場所在地
君津市坂田 601 0439-55-1710

第3回富士章受章スカウト顕彰会 第23回千葉県連盟隼章受章スカウト顕彰会 第8回プロジェクト発表会

平成23年7月10日(日)
千葉県青少年女性会館



富士章・隼章受章スカウト記念撮影



伊藤県連盟コミッショナーから激励の言葉



分科会発表



まとめ・講評、伊藤県連盟コミッショナー



おきての唱和、富川君



発表を聴く



分科会会場

富士章受章スカウト顕彰会は、未曾有の大災害となった東日本大震災の影響で4月開催が延期となり、同じく中止されていた千葉県連盟隼章顕彰会と合同で開催しました。

当日は、富士章3人、隼章3人のスカウトが出席し、連盟長より富士スカウトには日本連盟からのパーチメント番号入りの記念品を、隼スカウトにも県連盟から記念の品を贈り、スカウトの栄誉を称えました。その後、県連盟役員との食事会に臨み体験談等を伺い、和やかなひと時を過ごしました。

感謝の気持ち

八千代・習志野地区 習志野第2団 ローバースカウト隊 富川 優

私は今から約1年前、富士章を取得しました。ベンチャースカウト活動は、私にとってかけがえのない活動でした。そしてそのベンチャースカウト活動の中で富士章を取得できたことはとても嬉しかったです。幼い頃より父の仕事の関係で転団を繰り返していた私が、ここまで活動を続けてこられたのは、誰よりも両親のおかげです。それは引越しをする度に転団先を探してくるなど、全面的に協力してくれたからです。そして転団をすることで、たくさんの友達やリーダーと出会うことができました。出会ったすべての友達やリーダーにも感謝しています。これからは今までの経験を活かして仲間と共に活動を続けていきたいと思っています。



富士章を受章して

北総地区 流山第2団 ローバースカウト隊 三宅 敦子

今回の顕彰会に富士スカウトとして出席できた事を光栄に思います。スカウトの皆さんに伝えたい事は、富士章は手の届かない章ではないという事です。難しく考えてしまいがちなのも、例えば自身がスカウト活動以外で頑張っている事、好きな事、得意な事等に視点を当てアワードに置き換えてみれば取り組みやすくなります。実際、発表を聞きにきてくれたスカウト達に、グループワークにて富士スカウトによる助言の下企画書を書いてもらいましたが、コツを掴んだスカウト達が次々と完成させていく姿を見受けることができました。少し視点を変えればよりスカウト活動を楽しむことができる、皆さんには楽しみながら富士章を目指して欲しいです。



富士章取得までの長い支援に感謝

松戸・鎌谷地区 松戸第6団ベンチャースカウト隊 杉森 峻

私は富士章に挑戦する事で沢山の貴重な体験をすることができました。老人福祉施設での奉仕活動で得たものは働くことの意義や、人や社会に役立つことで自分も幸福になれるということです。アワードの計画書や報告書の作成では時間がかかり、一人で悩んでしまう事がありました。それでも数多くの活動を続け最後までやり切ることができたのは隊長や二人の先輩のおかげだと思います。ベンチャー隊での活動やアワード・技能章など一つひとつ経験したことを活かし、今後は社会人としての責任を果たしていけるよう頑張りたいです。またいつも応援してくれる両親には心から感謝しています。



将来への道標

千葉地区 千葉第15団 ローバースカウト隊 平山 秀

富士章を取得して一番良かったことは、「将来への道標」を手にすることができたということです。私はアワードで、身近な川の水質調査や21WSJでの国際交流に取り組みました。そしてその経験があって、現在では環境問題や国際関係の授業を大学で学び、将来もそれらに関連した進路に進みたいと考えています。また、宗教章でキリスト教章を取った結果、今でもヨーロッパの文化に関心を持っています。富士章を通じて、自分の目標や興味を明確化することができました。私は富士章を誇りに思い、今後もこの道標を辿っていききたいと思います。また、後輩スカウトにそれぞれの道標を持ってもらえるようにボーイスカウト活動に携わっていききたいと思います。



富士章授与から考えること

印旛地区 富里第1団 ローバースカウト隊 菱木 奈津美

名誉ある富士章を頂いて思うことは、世界ジャンボリー(イギリス)、日本ジャンボリーの参加等たくさんさんの経験をさせて頂いたことに感謝の気持ちでいっぱいです。特に、中学生、高校生、大学生の課題であるアイデンティティ確立の時期に、スカウト活動を通して、自分の可能性を探り、伸ばし、自己実現することを学ばせて頂きました。また、その経験の都度、新たな自分と向き合い、悩んでも来た事全て私の一生の財産と思っております。成人した私の今の目標は、次世代の育成・支援です。それには、これからも感性や人間性を磨き、1人の大人、そして保育者・教育者として日々精進して参りたいと考えます。



平成23年度 千葉県連盟年次総会 報告

千葉県連盟 事務局長 石黒秀彦



鈴木連盟長開会のあいさつ

平成23年度の年次総会が、6月5日(日)に柏市にある「県立手賀の丘少年自然の家」において開催されました。東日本大震災の影響で

総会プログラムやその対応の変更が生じましたが、開催地区である東葛地区の皆様をはじめとした実行委員の方々のご苦勞のおかげで設営ができました。



山田県連盟理事長の講案説明

総会は、新垣明氏(柏10団)が議長として運営がなされました。カブラリー中止、災害対策対応、見舞金の支給、登録料改定などに対して活発な意見・質疑がだされ、当初の予定時間を超えたため総会を一時中断し、式典が開催されました。

式典では、武田英香里さん(柏1)の指揮、高橋あずささん(柏7)のピアノ演奏で国歌斉唱、柏1団ベンチャースカウトの大倉成君の先導によるおきて唱和により開会され、千葉県教育庁生涯学習課 森本豊主幹、秋山浩保 柏市長、小町國市 日本

連盟理事の来賓の方々からご祝辞をいただきました。引き続き、県連盟感謝状、県連盟特別有功章をはじめ、日本連盟表彰など各種の伝達や表彰が行われました。

式典後 総会が再開され新体制による人事、役務が承認されました。スカウト人口の減少を抑え、本年度の決められた活動方針の実行が期待されます。



おきての唱和



総会会場

新 地区だより



「ボーイスカウト像」と「五大力船」



「地区全員の和とまとまりの良さ」を永年の実績から伝統とする上総地区では、昭和52年に市原地区から上総地区に再編、改名され、その昔上総の国から米や野菜、数々の食糧を江戸に運搬した「五大力船」をシンボルマークとしています。房総半島中央部から大海原に向かって船出するスカウ

トをイメージしてデザイン化されています。

また鈴木地区相談役(現 千葉県連盟長)の手により、地区発足30周年を機に後世に伝えるために千葉県におけるボーイスカウト活動の生立ちが刻まれた碑が建立されこの碑の上に立派な「ボーイスカウト像」が建ち、市原青少年会館でいつも我々を迎えてくれます。

皆さん是非「市原青少年会館」をお訪ね頂きたいです。

※最近のトピックス

平成23年7月3日(日)「地区カブラ



リー」を開催しました。スカウト、指導者等合計210人が昭和の森に集い、ハイキングをする中でベーゴマ、昔遊び、工作等を楽しく展開し、数々の素晴らしい思い出をつくることができました。

編集後記

東日本大震災から半年が経ち、復興への歩みを始めた被災地の息吹が伝わって来ます。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

千葉県も、大津波や液状化現象など、甚大な被害を被りました。

大津波に襲われた、旭市飯岡地区でのベンチャースカウトによる、災害復興支援活動と東北の被災地へ日本連盟の災害ボランティアとして参加した、ローバースカウトの活動報告を掲載いたしました。

4~5ページのカラー企画は、第18回千葉県カブラリーを予定しておりましたが、中止のため、「第2回世界ジャンボリー」「シンガポール派遣隊」「スイス派遣」3編の国際交流特集になりました。

編集長 上野 孝

	回数	隊数	団委員	指導者	スカウト	計
登録数	8	39	124	257	411	792

(加盟登録状況)平成23年8月末日現在